

平成15年度連携プロジェクトとして提案させていただいた下記の2件について活動経過の報告をいたします。

#### (1) 公民館の地域情報プラットフォーム化

主旨：

「地域活動の拠点である公民館に情報プラットフォームを構築し、情報の地域格差解消、情報発信拠点として利用する。公民館サイト及びネットワークの利用・運営により、県民との双方向の情報交流モデルを構築する。」

現状の分析（山形市内並びに米沢市内の公民館をサンプリング）

##### 1) 施設&設備の状況

- ・確認できたサンプルにおいては、回線、設備（PC）は完備  
行政LANの設置も確認～4/4（件数）

##### 2) 情報発信手段

- ・公民館報、イベントちらし、ポスターを主としている
- ・対外向けにおいては市報が主とした媒体～4/4

##### 3) 情報機器の利用内容

- ・PCの利用は個人担当で作業する他は利用していない～4/4

##### 4) Webに対する認識

- ・特別な知識、技術が必須との感想
- ・何となく効果が期待できそうとのイメージ
- ・現行の設備でできることがあまり理解できていない

##### 5) 今後のWeb利用

- ・できればいい、ただし自分が担当することは難しい

予備調査結果

協議会会員の方々からいただいた御意見を参考に、現状の分析と今後の方向性を探る活動を展開しました。

> 県内の公民館ネットワークは他県と較べると進んでいるほうではないか。

本来、他と比較することが目的ではなく、利用者サイドに立った見地が必要  
現状において市町村全てを網羅したわけではないが、確認地区で多く見受けられた状況は下記の通り。

- ・インフラは整備されているが、利用する体制が未整備。

環境（機材、回線）はほぼ整備されています。

操作担当者の習熟度はかなり格差がある。従って利用の幅も格差が生じてしまう。

職員は現行業務で手が空かず、更なる” 負荷 ”（利用することで解消することが認知されていない）を懸念し、積極的に取り組む形にはならない。

- ・ 設置されている設備の利用はかなり制限があり、稼働率は高くはない。  
保守並びに管理体制が整備されていないので、設備利用を積極的に進められない。
- ・ オンライン上のネットワークはほとんど利用されていない。  
設備としてつながっていても、利用できなければネットワークとは言えない。  
従って、活きたネットワークは確立されているとは言えない。
- ・ 技術的なものも影響しているが、具体的に「何ができる」「何をするために利用する」というものが不足している。  
目的が定かでないので、” 価値 ” を見出せていないのが実情。手段を学ぶということに終始し、目的の前に挫けるケースがある。

> 囑託なりの職員が必ずいるし、公民館独自の情報も発信している。

現状でいいのかどうかの評価はなされていない、従って将来を考えれば評価は必要

担当職員は鋭意努力しており、これ以上の負荷は考えられない。館報はもとより、様々なケースに対応して、地域への情報還元を計っている。

- ・ 担当職員を応援するグループが発生することが望ましい。

> 公民館は市町村の出先機関なので、市町村の担当課の協力を得る必要がある。

市町村では、HP のコンテンツは広報課が担当し、システムは情報所管課が担当するなど、調整が難しい面もある。また、公民館そのものが発信する情報でなくても、公民館を拠点とするサークルやグループ等の情報を発信してしまうという方法もあるのではないかと。

管理責任者は各市町村であり、年度事業計画に沿って運営している。

従って、公民館独自に取り組む内容には限界があり、管理責任者の協力は不可欠である。

しかしながら、公民館利用グループ、個人による情報発信は個々に可能である。

- ・ 異分野のグループが活動している公民館情報を ” 情報 ” を扱うグループが「応援もしくは支援」という形をとり、取材から発信まで行うことも考えられる。グループ間の横のつながりはこれまでほとんど無かったが、取材を通して交流が生まれ拠点である公民館を中心に地域活動が活性化する期待はある。

ただし、その際は各市町村並びに公民館担当者はそれらの活動を認知し、協力する体制をとることがポイント。（積極的に稼働状況の低い設備を使うようにすることも重要）

今後の取り組み

さらなる調査とモデル施設を設置して運用する取り組みを行う。  
(管理責任団体と連携できるようなアプローチにて)

## (2) 施設利用情報窓口の整備

主旨：

「公共施設の利用状況（日程）を取り上げ、専用の窓口サイトを構築する。予約状況確認から予約申込みへのシステムアップに必要なデータを収集し、次の段階のオンライン受付窓口システムの方向性を探る。」

現状の分析

### 1) 施設&設備の状況

・確認できたサンプルにおいては、回線、設備（PC）は完備

### 2) 情報発信手段

・Webサイト、イベントちらし、ポスターを主としている

### 3) 情報機器の利用内容

・PCの利用は個人担当で作業する他は利用していない

### 4) Webに対する認識

・特別な知識、技術が必須との認識

・現行の設備でできることがあまり理解できていない

### 5) 今後のWeb利用

・できればいい、ただし自分が担当することは難しい

対応する体制が確立できていない。（公民館の状況と同様）

今後の取り組み

・システムの要素があり、利用状況からユーザー要望のさらなる調査が必要。

（大規模に集約して行えば、現行システムの評価にもつながる）

システムとして予測すると、サービスとして提供することで、システムが進化し効率化が計ることが可能、また作業自体の負荷軽減も期待できる。情報媒体の進化（携帯端末）も考慮しながら構築することが重要。

また、NPOの応援参画をコーディネートすることで、幅の広い知識や技術に裏づけされたシステム構想を期待できる。

\*\*\*\*\*

平成16年3月8日 現在における活動経過状況です。

調査並びに検証は継続し、他のプロジェクトとの連携も視野に入れて進む方向です。

連携 : yamagata-1 リニューアル

: 公民館ライブカメラ

以上